

尼崎市都市計画道路整備プログラム 改定概要

1 尼崎市都市計画道路整備プログラムの概要・経緯

事業着手時期をあらかじめ明らかにすることにより関係権利者の計画的な土地利用を可能にし、より計画的かつ効率的な事業実施を図るため策定しており、平成 15 年 6 月に尼崎市都市計画道路整備プログラム（以下、「整備プログラム」という。）を策定以降、2 度の改定を行っている。

今回、整備プログラムの改定にあたり、平成 30 年度に市民意見聴取プロセス実施要項に基づく概要公表及び市民意向調査（アンケート調査）を実施し、これを反映した「尼崎市都市計画道路整備プログラム」改定版（素案）を作成した。

2 改定理由

整備プログラムは、10 年間の事業着手予定を 5 年ごとに前期と後期に分けて公表しているため、策定から 5 年が経過するなか、事業中路線の進捗状況などにより、時点修正が必要であり、兵庫県の社会基盤整備プログラムとの整合を図るため、整備プログラムを改定するものである。

3 市民意向調査

無作為抽出により選出された、市内在住の市民 1,000 人、市内の事業所 200 箇所に対して、幹線道路に対する満足度を把握し、それをもとに各路線を評価することを目的として、アンケート調査を実施した。

【アンケート調査】

- 実施期間：平成 31 年 1 月 4 日（金）～平成 31 年 1 月 31 日（木）
- 回収数：（市民） 324 票/1,000 票 （回収率：32.4%）
（事業所） 91 票/200 票 （回収率：45.5%）

アンケート調査の結果、不満な項目は、市民及び事業者ともに傾向が同じであり、「歩道などにバリアがなく誰もが通行しやすい（バリアフリー）」「自転車で通行しやすい（自転車レーン等の整備）」「交差点や狭い橋での渋滞が少ない（道路の込み具合）」などに対して、不満に思われていることが分かった。

4 路線評価

アンケート調査結果でえられた満足度（不満度）を市民ニーズ（道路に対する要求度）として捉え、災害時の安全確保や交通安全対策などの『必要性』と、行政側として事業を一体的整備するのが効率的であるといった『効率性』の 2 つの観点で、未整備の都市計画道路 34 路線について評価を実施した。

5 改定内容

整備プログラムの改定にあたって、前述のとおり路線ごとの評価を行った結果、優先度の高い路線を「令和10年度までに新たに着手を予定する路線」として記載した。

また、阪神南地域社会基盤整備プログラム（兵庫県）と整合を図るため、山手幹線を追加した。

【新たに追加した着手予定路線】

なし

【再度掲載する着手予定路線】（事業化に至らなかったため）

○尼崎伊丹線[阪神尼崎南工区]

○長洲久々知線

○猪名寺椎堂線

【削除した路線】（事業化に至ったため）

○尼崎宝塚線[阪急立体工区]

○尼崎伊丹線[阪神尼崎北工区]

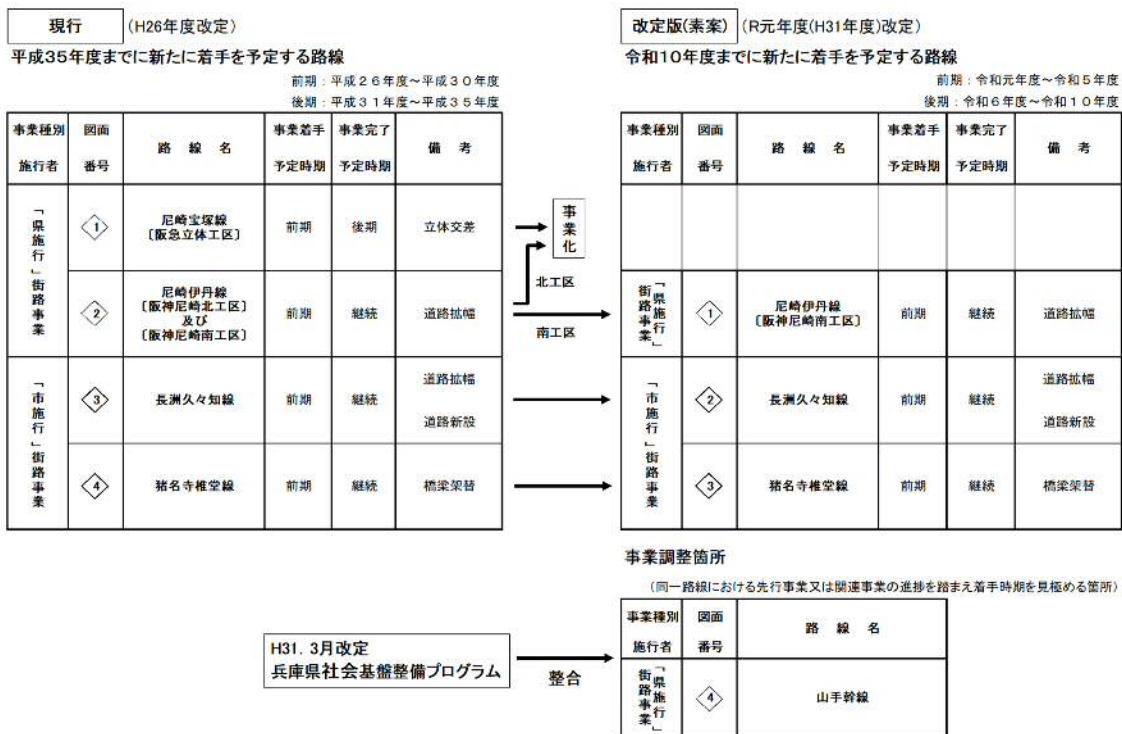


図. 整備プログラム前後比較表

6 今後のスケジュール

- 令和元年 8月 尼崎市都市計画道路整備プログラム（素案）公表
パブリックコメントの実施（8/7～8/27）
- 11月 都市計画審議会（報告）
- 12月 尼崎市都市計画道路整備プログラム（成案）公表
パブリックコメント結果公表

以上